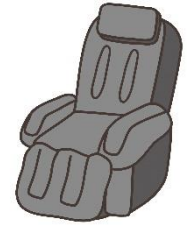


食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第78回 2024年11月)



前回書いた鼠径ヘルニア(脱腸)の処置だが、3泊4日の入院で無事処置が終わった。手術後、回診に来た主治医から「具合はどう？」と訊かれた食いしん防が「脱腸が治って快調です」と答えたところ、医師は苦笑いしてこう言った。「そんな軽口がたたけるくらいなら大丈夫だね」

話はちよいとそれるが、食いしん防は長年腰痛に苦しんでいる。マッサージチェアを家に置きたくてたまらないのだが、妖怪人間ベラ似の奥さまから「そんなもん置く場所がどこにあんのよ！」と冷たく却下される始末だった。

そんなおり、職場の隅でほこりをかぶっていた古いマッサージチェアを、粗大ゴミとして処分することになった。湖東町時代に使われていたものだから、かれこれ20年以上も昔の機械である。どうせもう動かないだろうと思ったが、念のためコンセントに差し込んでスイッチを入れてみると……

「う、動くじゃないか！ しかもすっごく気持ちいいっ！」

マッサ君(さっそく名付けた)は苦しげにウィンウィンうなりながらも、懸命に腰を揉みほぐしてくれた。

「この子を捨てるのはやめてくれ！」

必死の訴えが通り、マッサ君は処分を免れ、まち協の新たな1員となったのだった。

それから3年。マッサ君は雨の日も風の日も、食いしん防(と他の人たち)の腰や肩を揉みつづけたのである。

さて、脱腸の手術を終えて職場に戻り、5日ぶりにチェアに座った。

「たのむぞ、マッサ君」

ところがしばらく後、ため息のような音とともに動きが止まった。

「ど、どうしたんだマッサ君!? しっかりするんだ！」

答えはなかった。彼は食いしん防のヘルニア治療を待っていたかのように、波乱に満ちた生涯を終えたのである。



ありがとうマッサ君。キミのことは決して忘れない……(号泣)



TOPICS

☆市内防災連絡会議はつづく

能登川まち協安全安心部会の呼びかけでスタートした東近江市内まち協防災担当者のWeb会議。その4回目となる集まりが、先月開かれた。食いしん防は1回欠席したので、3回目の出席となる。

今回は、災害への備えとして、防災マップをどのように活用するか等をテーマに情報交換が行われた。能登川さんはかなり頑張っておられて、防災マップばかりか、ネット上のより詳細な情報まで収集して、防災計画の立案や訓練の参考にしているようだ。

この会議、月1回のペースで開かれており、次回は今月27日の予定になっている。12月は休みになるもよう。



☆こと防 秋のブロック活動を計画中

秋はこと防の季節。6月の全体会に続き、ここからは避難所単位で組まれたブロックごとの活動になるのが通例だ。

コロナ以降は、会議や研修が続いているので、そろそろ外にも出たいのだが……

企画に困ってお馴染みの中村準一さんに相談してみると

「そうですね。わたし近々そっち行きますので、打ち合わせしましょう」

いつものようにさわやかな笑顔（電話での会話だったが、きっとそう）でそう言われたのだが、月末にいたっても姿を見せない。

いや、文句をつけてるわけじゃないのよ。忙しい方ということはわかってるからね。でもそういうことで、ここにはまだ『計画中』としか書けないのだ。あしからず。



今後の活動予定

11月 3日（日）ことうふるさとまつり 2024

27日（水）市内防災連絡 Web 会議

未定 こと防秋のブロック活動

12月 14日（土）大沢町サロンに出張！ 防災クイズ大会

※ 出前講座の申し込み受け付けます！

勝手にQ&Aコーナー

Q：自分の家あたりの災害危険度を防災マップで見ると薄い黄色（危険度はやや低い）だったのですが、別のデータだと赤色（危険度が高い）になってました。どちらを信用したらいいんですか？

A：まだ起こっていない災害の危険度は、あくまでも推定に過ぎません。推定は、新たな知見が加わることによって、日々更新されます。先の能登半島豪雨災害でも、従来は比較的安全とされていた地域で、中小河川の氾濫による死者が出ました。災害では常に想定外のことが怒り得ます。ひとつのデータで安全になっていても鵜呑みにせず、注意を怠らないことが肝要です。

Q：マッサ君の話は感動的で、涙が抑えられませんでした。ウソやけど。

A：ええ話だったでしょう……って、ウソなんかいい？

楽しい質問、お待ちしております！



（文責：こじまだっちょ）